

こんにちは！

回覧

西箕輪保育園です



平成 27年8月 20日

地域の皆様こんにちは！日頃は大変お世話になっております。保育園では、暑い夏ならではの水遊びを思い切り楽しんでいます。水遊びは、楽しいだけでなく、子どもたちにいろいろな力をくれます。初めて水に顔を入れることができたとき・・・初めて浮くことができたとき・・・初めて水の中で目を開けることができたとき・・・どの瞬間も、子どもたちにとっては世界が変わるくらいすごい事。できるようになることが増えるたびに自信を持ち、次への意欲がむくむくとわいてきます。年長さんは、小学校の休み時間に、小学校のプールを使わせていただいています。楽しみながら心も体も豊かに育ててほしいと思います。

未満児さんは、テラスのビニールプールで、楽しんでいます。



年長さんは、山の神で川遊びを楽しみました。



年中さんは、市民プールであそんだことをきっかけに、プールあそびがとても積極的になりました。



年少さんにとっては初めてのプール。浅いプールから、少しずつ慣れていきます。



天使のささやきコーナー

子供たちは保育園でとてもかわいいしぐさを見せてくれたり、発想豊かでかわいいおしゃべりもたくさん聞かせてくれます。そのおしゃべりはまるで“天使のささやき”のようです。

子「すごいよ!!黄色い小さいトンボがいた」
保「え～黄色いトンボ？」
子「ほら、見て!!」
保（おっ!!）「う…うん…、それ、ハ千だ～」
子「ぎゃ～」

畑に生えている草に向かって、
「おい、お前ばかり栄養とって大きくなるなよ!!」
暑い中草取りを頑張ってくれた男の子の、心からのささやきでした。

子育て川柳コーナー

子育てに頑張っているお母さん方から寄せられた、素敵なお母さん川柳をご紹介します。

- “がんこだな 昔の自分 見てるよう” (つばき 60 さん)
- “三兄弟 おおきなかぶの 小役者” (ばばんだママさん)
- “小さな手 わたしに花を くれる人” (大きな手からももらいたいさん)
- “パパママと 両手つないで 夢の中” (ブー太郎さん)

心 ゆたかに

心豊かな子どもたちに育ててほしいという願いを持ち、様々な方々と交流をしています。交流の中で感じた嬉しさや楽しさなど、プラスの感情だけではなく、悲しかったこと、恥ずかしかったことなども、子どもたちの心の育ちにつながる大切な経験です。また、色々な方と関わることで、人と関わる力、考える力、コミュニケーション力がつきます。

中学生交流

毎年2回、西箕輪中学の生徒さんが保育園交流に来てくれます。1回目は、子どもの発達の様子を知ることを目的に、2回目は、子どもの年齢に合ったおもちゃを作って持ってきてくれてそれで遊ぶことを目的に来てくれます。お兄ちゃんたちのダイナミックな遊び方や、お姉さんたちの優しいまなざしに、子どもたちの目はキラキラです。



脳いきいき交流



脳いきいきの方々と、温かくほんわかとした交流をさせていただいています。初めてお会いしたその日に、すっかり安心して甘える子どもたちでした。じゃんけんゲームでは、脳をしっかり使いみんな10歳は若返った感じでした。絵本の読み聞かせでは、ひざに入れてもらったり背中に寄りかかったりし、まるで自分のお家のおじいちゃんおばあちゃんに甘えているかのようでした。

がるがるっこを育てよう!

「聞きたがる」「見たがる」「不思議がる」「知りたがる」「試してみたがる」「みつけたがる」「できるようになりたがる」・・・たくさんの“がるがるっ子”たちが、保育園で育っています。梅雨時に雨降り散歩に行った年中さん、「あ！山の中って、木が守ってくれるから、帽子とっても濡れないじゃん。」「なんかいい匂い」「雨なのにダチョウがいるよ。ダチョウは雨が好きなんだね」と素敵な“がるっ子”たち。保育園で飼っているイモリのエサがなくなったら、「イモリは何を食べるのかなあ」と図鑑で調べたり、みんなで話し合ったりした年長さん。イモリはどうも生きて虫を食べるらしいと知った子どもたちは、「えー、かわいそう」「死んでる虫をやればいい」「命を分けてもらってるんだね」「ミミズも可哀そうだけど、イモリには生きていてほしいから、ありがたい気持ちであげる」など、自分の頭で考えて自分の言葉で話し合いをし、イモリのエサから命の大切さにも触れることが出来た“がるがるっ子”たちでした。子どもたちの気づきを大切にしながら、日々関わっていきます。

こんな素敵な子どもたちのことを、見守ってくださいね!!